



平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年8月2日

上場会社名 佐田建設株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 1826 URL <http://www.satakensetsu.co.jp>  
 代表者(役職名)代表取締役社長 (氏名)荒木 徹  
 問合せ先責任者(役職名)常務執行役員管理本部長 (氏名)田島 順一 TEL (027)251-1551  
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	3,829	23.0	△256	—	△253	—	△245	—
22年3月期第1四半期	3,114	△59.1	△268	—	△284	—	△263	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第1四半期	△3.16	—
22年3月期第1四半期	△3.40	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第1四半期	15,764	4,442	28.2	57.28
22年3月期	17,135	4,687	27.4	60.44

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 4,442百万円 22年3月期 4,687百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	—	—	0.00	0.00
23年3月期	—	—	—	0.00	0.00
23年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,800	7.2	△520	—	△540	—	△550	—	△7.09
通期	28,250	1.6	△370	—	△390	—	△410	—	△5.28

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は【添付資料】P.3「その他」をご覧ください。）

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
- ① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有
- ② ①以外の変更 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年3月期第1Q	77,606,166株	22年3月期	77,606,166株
② 期末自己株式数	23年3月期第1Q	41,260株	22年3月期	40,550株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年3月期第1Q	77,565,304株	22年3月期第1Q	77,570,624株

(※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示)

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

(※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項)

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
4. 補足情報	9
(1) 生産、受注及び販売の状況	9

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、新興国の順調な回復や政府による緊急経済対策などから、一部で回復の兆しが見られたものの、依然として深刻な雇用情勢や欧州財政問題から来る株安や円高等への不安が残り、引続き厳しい状況で推移しました。

建設業界におきましては、民間設備投資の抑制姿勢や公共投資の縮減継続等により、依然として厳しい受注環境となりました。

当社グループはこのような状況下、経営資源を集中し受注と利益の向上に全力で取り組んで参りました。

この結果、当第1四半期連結会計期間のセグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

土木関連の受注高は7億6千2百万円となりました。売上高は16億3千6百万円で、売上総利益は1千2百万円となりました。

建築関連の受注高は55億1千9百万円となりました。売上高は21億9千3百万円で、売上総利益は7千9百万円となりました。

全体として、受注高は土木関連の受注は低迷しているものの、建築関連の受注が民間・官公庁工事ともに順調に獲得できたことにより、前年同四半期に比べ41億2千9百万円増加し62億8千1百万円（前年同四半期比191.9%増）となりました。

売上高は、前年同四半期に比べ7億1千5百万円増加し38億2千9百万円（前年同四半期比23.0%増）となりました。

営業損益は、工事原価の圧縮や販売費及び一般管理費の削減努力は継続して行っているものの、引続く受注価格競争や建設事業における季節的変動要因等より、前年同四半期とほぼ同水準の2億5千6百万円（前年同四半期比4.6%減）の営業損失となりました。

これにより、四半期純損失も前年同四半期とほぼ同水準の2億4千5百万円（前年同四半期比6.9%減）の四半期純損失となりました。

また、建設事業におきましては、契約により工事の完成引渡しが第4四半期連結会計期間に集中しているため、第1四半期連結会計期間から第3四半期連結会計期間における完成工事高に比べ、第4四半期連結会計期間の完成工事高が著しく多くなるといった季節的変動があります。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形・完成工事未収入金（28億2千3百万円）の減少や現金預金（18億4千8百万円）の増加等により、前連結会計年度末に比べ13億7千1百万円減少し157億6千4百万円（前期比8.0%減）となりました。

負債総額は、支払手形・工事未払金（12億7千6百万円）、短期・長期借入金（7億8千1百万円）の減少や未成工事受入金（8億9千3百万円）の増加等により、前連結会計年度末に比べ11億2千5百万円減少し113億2千1百万円（前期比9.0%減）となりました。

純資産は、四半期純損失2億4千5百万円を計上したこと等により、前連結会計年度末に比べ2億4千5百万円減少し44億4千2百万円（前期比5.2%減）となりました。

自己資本比率は、総資産も減少したことにより、前連結会計年度末に比べ0.8ポイント増加し28.2%となっております。

「現金及び現金同等物の四半期末残高」は、前連結会計年度末に比べ18億4千8百万円増加し54億1百万円（前期比52.0%増）となりました。

各キャッシュ・フローの状況等につきましては次のとおりです。

[営業活動によるキャッシュ・フロー]

営業活動の結果得られた資金は26億3千2百万円（前年同四半期比25.2%増）となりました。

収入の主な内訳は、売上債権の減少28億2千3百万円及び未成工事受入金の増加8億9千3百万円であり、支出の主な内訳は、税金等調整前四半期純損失2億3千6百万円、仕入債務の減少14億5千1百万円でありませ

[投資活動によるキャッシュ・フロー]

投資活動の結果使用した資金は0百万円（前年同四半期比99.6%減）となりました。

これは、主に有形固定資産等の取得によるものであります。

[財務活動によるキャッシュ・フロー]

財務活動の結果使用した資金は7億8千3百万円（前年同四半期比70.1%減）となりました。

これは、主に短期及び長期の借入金返済によるものであります。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

建設業界を取巻く環境は大変厳しい状況にあります。現時点において連結業績予想の変更は行っておりません。今後更に経営資源を集中し、全社一丸となって「受注の確保と利益の向上」に邁進してまいります。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

重要な子会社の異動はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### ①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率を使用して貸倒見積高を算定しております。

#### ②法人税等の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	5,481	3,632
受取手形・完成工事未収入金	3,865	6,688
未成工事支出金	1,021	970
材料貯蔵品	103	102
その他	383	816
貸倒引当金	△4	△19
流動資産合計	10,850	12,191
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	1,542	1,560
土地	2,847	2,847
その他(純額)	165	177
有形固定資産合計	4,554	4,585
無形固定資産		
	42	43
投資その他の資産		
投資有価証券	252	249
破産更生債権等	1,665	6,650
その他	64	66
貸倒引当金	△1,665	△6,650
投資その他の資産合計	316	315
固定資産合計	4,913	4,944
資産合計	15,764	17,135
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金	3,598	4,875
短期借入金	1,155	1,857
未成工事受入金	1,730	837
完成工事補償引当金	3	3
賞与引当金	98	68
工事損失引当金	211	226
債務保証損失引当金	148	149
事業構造改善引当金	12	30
その他	384	478
流動負債合計	7,343	8,526

(単位:百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>固定負債</b>		
長期借入金	160	240
繰延税金負債	48	48
再評価に係る繰延税金負債	588	588
退職給付引当金	3,147	3,009
その他	33	34
<b>固定負債合計</b>	<b>3,978</b>	<b>3,921</b>
負債合計	11,321	12,447
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	1,886	1,886
資本剰余金	2,048	2,048
利益剰余金	△305	△60
自己株式	△3	△3
<b>株主資本合計</b>	<b>3,624</b>	<b>3,870</b>
<b>評価・換算差額等</b>		
<b>その他有価証券評価差額金</b>	<b>△0</b>	<b>0</b>
土地再評価差額金	817	817
<b>評価・換算差額等合計</b>	<b>817</b>	<b>817</b>
<b>純資産合計</b>	<b>4,442</b>	<b>4,687</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>15,764</b>	<b>17,135</b>

## (2) 四半期連結損益計算書

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	3,114	3,829
売上原価	2,978	3,738
売上総利益	136	91
販売費及び一般管理費	404	347
営業損失(△)	△268	△256
営業外収益		
受取利息及び配当金	0	0
還付加算金	—	7
その他	2	4
営業外収益合計	2	12
営業外費用		
支払利息	11	8
支払手数料	7	1
その他	—	0
営業外費用合計	19	9
経常損失(△)	△284	△253
特別利益		
固定資産売却益	2	—
貸倒引当金戻入額	21	14
債務保証損失引当金戻入額	1	1
特別利益合計	25	16
特別損失		
固定資産除却損	0	—
特別損失合計	0	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△259	△236
法人税、住民税及び事業税	3	8
法人税等合計	3	8
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△245
少数株主損失(△)	△0	—
四半期純損失(△)	△263	△245



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△259	△236
減価償却費	35	32
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△20	△4,999
完成工事補償引当金の増減額(△は減少)	△0	0
賞与引当金の増減額(△は減少)	13	30
工事損失引当金の増減額(△は減少)	△16	△14
債務保証損失引当金の増減額(△は減少)	△1	△1
事業構造改善引当金の増減額(△は減少)	—	△17
退職給付引当金の増減額(△は減少)	172	138
破産更生債権等の増減額(△は増加)	2	4,985
受取利息及び受取配当金	△0	△0
支払利息	11	8
売上債権の増減額(△は増加)	6,850	2,823
未成工事支出金の増減額(△は増加)	△2,622	△51
たな卸資産の増減額(△は増加)	△5	△0
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,862	△1,451
未成工事受入金の増減額(△は減少)	1,282	893
その他	△433	542
小計	2,144	2,679
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△11	△15
法人税等の支払額	△30	△32
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,103	2,632
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△23	△1
有形固定資産の売却による収入	2	—
その他	0	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△21	△0
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△2,540	△701
長期借入金の返済による支出	△80	△80
自己株式の取得による支出	△0	△0
その他	△0	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,621	△783
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△538	1,848
現金及び現金同等物の期首残高	4,739	3,552
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,200	5,401

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

## (1) 生産、受注及び販売の状況

## 連結受注高・完成高・繰越高

項 目	前年同四半期 平成22年3月期 第1四半期累計期間	当四半期 平成23年3月期 第1四半期累計期間	増減金額	前年同期比	(参考) 前期 平成22年3月期
	金額	金額			金額
建設事業	百万円	百万円	百万円	%	百万円
	2,152	6,281	4,129	191.9	20,608
	受注高				
	3,114	3,829	715	23.0	27,809
	19,668	15,882	△ 3,786	△ 19.3	13,430
	繰越高				

## 個別部門別受注高・完成高・繰越高

項 目	前年同四半期 平成22年3月期 第1四半期累計期間		当四半期 平成23年3月期 第1四半期累計期間		(参考) 前期 平成22年3月期	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
受注高	百万円	%	百万円	%	百万円	%
	685	43.0	508	9.2	7,428	41.8
	土木工事					
	907	57.0	5,004	90.8	10,342	58.2
	建築工事					
合計	1,592	100.0	5,512	100.0	17,770	100.0

項 目	前年同四半期 平成22年3月期 第1四半期累計期間		当四半期 平成23年3月期 第1四半期累計期間		(参考) 前期 平成22年3月期	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
完成高	百万円	%	百万円	%	百万円	%
	1,129	46.9	1,530	47.2	10,835	45.9
	土木工事					
	1,277	53.1	1,714	52.8	12,758	54.1
	建築工事					
合計	2,406	100.0	3,245	100.0	23,594	100.0

項 目	前年同四半期 平成22年3月期 第1四半期末		当四半期 平成23年3月期 第1四半期末		(参考) 前期 平成22年3月期	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
繰越高	百万円	%	百万円	%	百万円	%
	8,648	48.3	4,662	30.7	5,685	44.1
	土木工事					
	9,260	51.7	10,504	69.3	7,213	55.9
	建築工事					
合計	17,909	100.0	15,166	100.0	12,899	100.0

## 個別 受注・完成・繰越工事高の状況

項 目			前 年 同 四 半 期 平成22年3月期 第1四半期			当 四 半 期 平成23年3月期 第1四半期			増 減 金 額	前 年 同 期 比	( 参 考 ) 前 期 平成22年3月期		
			金 額	構 成 比		金 額	構 成 比				金 額	構 成 比	
			百万円	%	%	百万円	%	%			百万円	%	%
受注工事高	土木	官公庁	385	56.2		404	79.6		19	5.0	6,175	83.1	
		民間	300	43.8		103	20.4		△ 196	△ 65.5	1,253	16.9	
		計	685	100.0	43.0	508	100.0	9.2	△ 177	△ 25.9	7,428	100.0	41.8
	建築	官公庁	156	17.2		1,090	21.8		934	597.5	3,809	36.8	
		民間	750	82.8		3,914	78.2		3,163	421.3	6,532	63.2	
		計	907	100.0	57.0	5,004	100.0	90.8	4,097	451.7	10,342	100.0	58.2
計	官公庁	541	34.0		1,494	27.1		953	176.0	9,984	56.2		
	民間	1,050	66.0		4,017	72.9		2,966	282.3	7,785	43.8		
	計	1,592	100.0	100.0	5,512	100.0	100.0	3,920	246.1	17,770	100.0	100.0	
完成工事高	土木	官公庁	901	79.8		1,376	89.9		475	52.7	8,774	81.0	
		民間	228	20.2		154	10.1		△ 73	△ 32.3	2,061	19.0	
		計	1,129	100.0	46.9	1,530	100.0	47.2	401	35.5	10,835	100.0	45.9
	建築	官公庁	460	36.1		719	41.9		258	56.1	3,990	31.3	
		民間	816	63.9		995	58.1		178	21.9	8,768	68.7	
		計	1,277	100.0	53.1	1,714	100.0	52.8	437	34.2	12,758	100.0	54.1
計	官公庁	1,361	56.6		2,095	64.6		733	53.9	12,764	54.1		
	民間	1,044	43.4		1,149	35.4		105	10.1	10,829	45.9		
	計	2,406	100.0	100.0	3,245	100.0	100.0	838	34.9	23,594	100.0	100.0	
繰越工事高	土木	官公庁	7,717	89.2		4,662	100.0		△ 3,055	△ 39.6	5,633	99.1	
		民間	931	10.8		0	0.0		△ 930	△ 100.0	51	0.9	
		計	8,648	100.0	48.3	4,662	100.0	30.7	△ 3,985	△ 46.1	5,685	100.0	44.1
	建築	官公庁	2,453	26.5		2,947	28.1		494	20.2	2,576	35.7	
		民間	6,807	73.5		7,556	71.9		748	11.0	4,637	64.3	
		計	9,260	100.0	51.7	10,504	100.0	69.3	1,243	13.4	7,213	100.0	55.9
計	官公庁	10,170	56.8		7,610	50.2		△ 2,560	△ 25.2	8,210	63.7		
	民間	7,738	43.2		7,556	49.8		△ 181	△ 2.4	4,688	36.3		
	計	17,909	100.0	100.0	15,166	100.0	100.0	△ 2,742	△ 15.3	12,899	100.0	100.0	